

令和 3年度

事務事業評価表(令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

Table with columns: 事務事業名, 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (所属課, 課長名, グループ, 担当者名), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 手段名), 事業期間 (単年度繰返し, 期間限定の場合), 予算科目 (会計, 款, 項, 目, 事業, 細), 法令根拠

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns: 手段(担当者の活動内容), ④活動指標(活動量を表す指標), 単位, 01年度(実績), 02年度(実績), 03年度(計画), 04年度(目標), 05年度(目標)

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns: 投入量(事業費), 01年度(実績), 02年度(実績), 03年度(計画), 期間限定総投入量

Table with columns: 事業費の内訳, 02年度事業費(実績), 03年度事業費(予算)

事務事業名	ウエイトトレーニング講習会事業	事務事業No.	20401000076	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 岩瀬体育館が平成6年に開館し、翌年からトレーニングジムの有効利用及び基礎知識、器具の利用方法を習得させるために実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民からは、無料開放の要望、トレーニング器具老朽化による取り換え等、スペースの拡大、専門員の指導（トレーニング実習時）等の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・安全に利用できるようなウエイトトレーニングの基礎知識を習得し、器具の正しい使い方をマスターするという意図は、継続してトレーニングをした場合、健康・体力の増進につながるという結果に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・受講者がウエイトトレーニングの基礎知識を習得し、器具の正しい使い方をマスターすることで、利用者の運動効果もあり器具の適正な使用にもつながる。また、健康に対する運動習慣を意識づけることができる。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ・講習会受講生からのリピーターが限られているので、継続して行うことの重要性をもっとPRしていかなければならない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・正しい器具の使い方、使用手順が習得できないため、器具類の故障にもつながり筋肉障害を起こしやすいことになる。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため統廃合・連携はない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・1回当りの受講生を多く募集し、年4回の開催を年3回としたことで、講師謝礼を削減した。人件費のこれ以上の削減は難しい。 ・1回当り午前・午後に開催していたが、午前か午後どちらかに開催することで、人件費は増加せず実施日を増加した。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・1回(2時間以内)の使用料200円(70歳以上の人は半額減免)を徴収し、受益者負担をいただいております、事業の内容が一部に偏っているとはいえない。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・講習会受講後のリピーターが限られているので、継続して行うことの重要性をもっとPRしていかなければならない。経年劣化等により器具不足が生じているため器具を新しくしてほしいとの要望がある。 ・以前の講習会は年3回の開催のため、利用希望者の受講機会が限られていたが、令和元年度は年5回開催したため、苦情が前年度より少なくなった。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・講習会受講生からのリピーターが限られているので、継続して行うことの重要性をもっとPRしていかなければならない。		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	X	維持			X	低下	維持			X	低下			X
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○	X																									
	維持			X																									
低下	維持			X																									
	低下			X																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>